

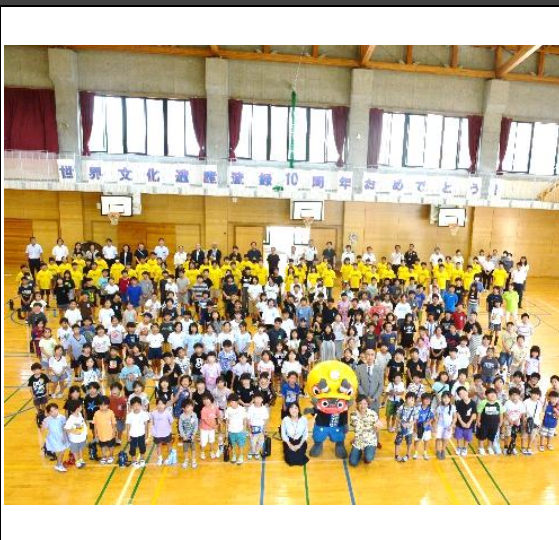
1 学習に取り組んでいる主な分野

<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ()	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「志を持ち自ら考え行動できる児童の育成」を学校教育目標に掲げ、ESDの実践を通して、「人格の発達や自立心、判断力などの人間性を育むとともに、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、持続可能なまちづくりに向けて自分ができることを考え行動する児童を育成する。」という目標を設定した。

具体的には「環境」「健康・福祉」「世界遺産や地域遺産等」を柱に、①諏訪川や有明海の環境保全にかかわる学習、②地域の高齢者の方とのふれあいにかかわる学習、③世界文化遺産宮原坑を中心とした大牟田のまちの持続発展にかかわる学習を行った。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 諏訪川や有明海の環境保全にかかわる学習

3年生は、校区の河川と下流域につながる有明海の干潟の生き物調べを行った。そこに生息する生き物の多様性・希少性を知ることによって川や海に親しみ大切にしていこうという意識が高まった。

4年生は、総合的な学習の時間において、校区にある2級河川「諏訪川」の水質調査を大牟田市環境保全課と連携し調査を行った。また、生活排水との関係を調べる学習を行うことで、諏訪川や有明海の水質保全について自分たちに何ができるのかを考え、校内外に向けて発信した。



○ 地域の高齢者の方や福祉施設にかかわる学習

5年生は、総合的な学習の時間「地域高齢者訪問」の単元を通して、自分たちの校区や大牟田市の高齢者についての課題を捉え、地域の一員として住みやすい校区にするための活動に取り組んでいる。公民館長さんや民生委員さん、警察署の方々の思いや願いについてのお話を聞き、自分たちにできることを考えた。また、高齢者宅を訪問した際には、全校児童による手紙や寄せ書きと一緒に、ニセ電話詐欺防止のチラシも配布した。この他にも、運動会や学習発表会に校区の介護福祉施設を利用されている方をお招きし、参観していただくなど、地域とのつながりを大切にして学習することができた。



○ 世界文化遺産「宮原坑」を中心とした大牟田の町の持続発展にかかわる学習

6年生は、昨年度の6年生から引き継ぎ、校区にある世界文化遺産「宮原坑」の歴史や価値をより多くの人に伝えたいという願いをもち、宮原坑を訪れる方に子供ボランティアガイドを行った。また、明治日本の産業革命遺産について学習する「世界遺産キッズアカデミー」でオンライン交流をしている北九州市と中間市の児童と対面を果たし、宮原坑にて子供ボランティアガイドを行い、親交を深めることができた。本年度も三池炭鉱及び三池港と他の明治日本の産業革命遺産とのつながりについて理解を深め、より多くの方々に学びを発信することができた。



4 今後の活動計画

来年度も「環境」「福祉」「世界遺産」を柱に、地域の「ひと」「もの」「こと」のよさや価値を体験的に学び、発信する活動の充実を図る。そのために、

1. 横断的・総合的なESDの実践を通して、PDCAサイクルを確立させながら、令和7年度までの実践をさらに高めていく。
2. 小中一貫教育における9年間の系統性・連続性を強化した教育課程の見直しや精選を行っていく。
3. 児童が、地域の「ひと」「もの」「こと」と自身の生活や生き方とのつながりを実感できる指導を行っていく。
4. 体験活動や探求的な学習を通して、自分の考えや意見を深め、意欲的に発信していくことができるようにする。